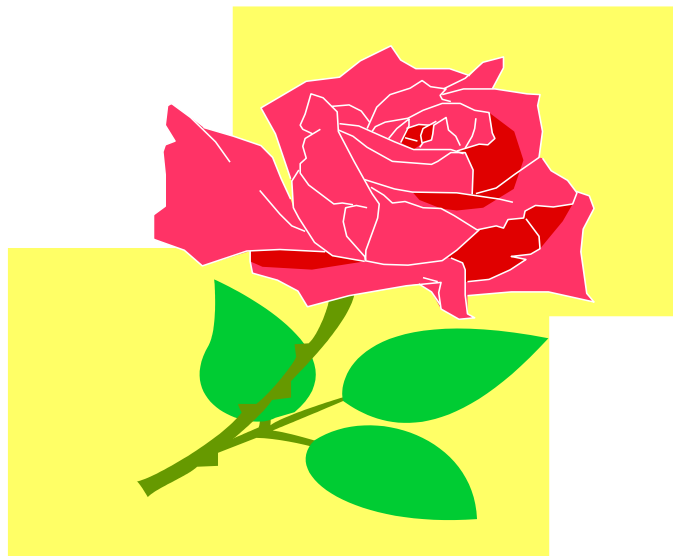


# 議会月報

令和7年  
— 12月号 —



市の花 ばら

No.519

前橋市議会事務局



# 令和7年12月号目次

■ 議会のうごき	2
本    会    議	2
第    1    日	2
第    2    日	5
総括質問	6
第    3    日	8
総括質問	9
第    4    日	11
総括質問	12
第    5    日	15
意見書	18
会議結果	26
議会運営委員会	29
各派代表者会議	36
■ ロ    ビ    ー	41
12月の日誌	41
図書室だより	41
議会運営状況調べ	42

# ■ 議 会 の う ご き

## — 本 会 議 —

### ◇ 第4回定例会の概要

開会に先立ち、11月5日に逝去された故金井清一議員に対し、黙禱と追悼の言葉があった。

令和7年第4回定例会は、11月27日に招集され、12月16日までの20日間（本会議は5日間）の会期で行われた。

今定例会では、「令和7年度前橋市一般会計補正予算」以下44件の市長提出議案、「公平委員会の委員の選任について」の市長職務代理者提出追加議案1件、「市長において専決処分することができる事項の指定の改正について」の議会議案1件が審議され、いずれも原案のとおり可決、同意された。

総括質問は4日、5日及び8日の3日間に31人の議員が行い、副市長や所管部長などから答弁があった。

意見書案は、「太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書」以下7件が上程され、同意見書を含む4件を原案のとおり可決、「タネ（種子）を守る2法案の成立を求める意見書」以下3件は否決され、第4回定例会は閉会した。

### ◇ 11月27日（木）〔第1日〕

#### 市長提出議案44件の上程、市長の退職期日同意の件

富田議長の開会宣言に続いて事務局長からの諸般の報告の後、会期を11月27日から12月16日までの20日間と決め、会議録署名議員に間仁田、小川、山田各議員を指名した。

次に、「令和7年度前橋市一般会計補正予算」以下44件の市長提出議案が上程され、各所管部長から提案理由の説明が行われた。

続いて、11月25日に小川市長より、11月27日をもって退職したい旨の退職願が提出され、法定期日前の退職については地方自治法第145条の規定により議会の同意が必要となるため、表決の結果、賛成全員で同意された。

次に、28日から12月3日までの6日間を休会と決め、午後2時6分に散会した。

# 議事日程第 1 号

第 4 回定例会

令和 7 年 1 月 27 日 (木)

午後 1 時開議

## 第 1 会期の決定

## 第 2 会議録署名議員の指名

## 第 3 市長提出議案の上程

- 議案第 1 2 9 号 令和 7 年度前橋市一般会計補正予算  
議案第 1 3 0 号 令和 7 年度前橋市後期高齢者医療特別会計補正予算  
議案第 1 3 1 号 令和 7 年度前橋市介護保険特別会計補正予算  
議案第 1 3 2 号 令和 7 年度前橋市産業立地推進事業特別会計補正予算  
議案第 1 3 3 号 令和 7 年度前橋市水道事業会計補正予算  
議案第 1 3 4 号 令和 7 年度前橋市下水道事業会計補正予算  
議案第 1 3 6 号 前橋市部設置条例の改正について  
議案第 1 3 7 号 前橋市職員等の旅費に関する条例の改正について  
議案第 1 3 8 号 前橋市公契約基本条例の改正について  
議案第 1 3 9 号 前橋市防災会議に関する条例の改正について  
議案第 1 4 0 号 前橋市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の改正について  
議案第 1 4 1 号 道の駅まえばし赤城の設置及び管理に関する条例の改正について  
議案第 1 4 2 号 前橋市こども基本条例の制定について  
議案第 1 4 3 号 児童福祉法等の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について  
議案第 1 4 4 号 前橋市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の改正について  
議案第 1 4 5 号 前橋市福祉医療費の支給に関する条例の改正について  
議案第 1 4 6 号 前橋市屋外広告物条例の改正について  
議案第 1 4 7 号 前橋市道路占用料徴収条例の改正について  
議案第 1 4 8 号 前橋市営納骨堂条例の改正について  
議案第 1 4 9 号 前橋市火災予防条例の改正について  
議案第 1 5 0 号 前橋市立学校職員の給与等に関する条例の改正について  
議案第 1 5 1 号 前橋市学校問題対策専門委員会設置条例の改正について  
議案第 1 5 2 号 前橋市公園条例の改正について  
議案第 1 5 3 号 前橋市議会議員及び前橋市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の改正について  
議案第 1 5 4 号 公の施設の指定管理者の指定について (前橋市総合福祉会館ほか)  
議案第 1 5 5 号 公の施設の指定管理者の指定について (千代田町二丁目立体駐車場ほか)  
議案第 1 5 6 号 公の施設の指定管理者の指定について (前橋駅東側自転車等駐車場ほか)  
議案第 1 5 7 号 公の施設の指定管理者の指定について (前橋市林間研修施設おおさる山乃家)  
議案第 1 5 8 号 工事請負契約の締結について (市庁舎外壁シーリングほか改修工事)  
議案第 1 5 9 号 工事請負契約の締結について (天川小学校南校舎長寿命化改良建築工事)  
議案第 1 6 0 号 工事請負契約の締結について (細井小学校中校舎長寿命化改良建築工事)  
議案第 1 6 1 号 工事請負契約の締結について (上川淵公民館大規模改修及び増築建築工事)  
議案第 1 6 2 号 工事請負契約締結の議決事項の変更について (駒寄スマート I C 産業団地造成事業雨水調整池築造工事)

- 議案第163号 工事請負契約締結の議決事項の変更について（橋梁長寿命化修繕工事）  
議案第164号 物品の購入について（消防ポンプ自動車）  
議案第165号 物品の購入について（消防ポンプ自動車ぎ装）  
議案第166号 物品の購入について（消防ポンプ自動車シャーシ）  
議案第167号 物品の購入について（Chromebook）  
議案第168号 財産の譲与について（苗ヶ島町地内部分木）  
議案第169号 財産の譲与について（粕川町室沢地内部分木）  
議案第170号 市道の認定について  
議案第171号 市道の廃止について  
議案第172号 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について  
議案第173号 群馬県市町村総合事務組合の災害弔慰金の支給等に関する事務に係る共同処理の取りやめに伴う財産処分に関する協議について  
（以上44件一括上程・説明）

#### 第4 市長の退職期日同意の件

休会の議決

◇ 12月4日(木) [第2日]

総括質問

佐藤、近藤(登)、小林、石塚、新井、三森、小淵、林(倫)、水野、吉田(博)、吉田(直)各議員から総括質問が行われ、午後4時52分に延会した。

---

議事日程第2号

第4回定例会

令和7年12月4日(木)

午前10時開議

第1 総括質問

議案第129号から第134号まで、及び議案第136号から第173号まで  
(以上44件等に対する総括質問)

# 総括質問一覧表

(12月4日) 1/2

令和7年第4回定例会

発言 順序	氏 名	通告 時間	件 名	要 旨
1	8 佐藤 祥平 (一問一答)	30	1 これからの市政について 2 広瀬団地再生ビジョンについて 3 共生社会の推進について 4 医療体制について 5 地域の諸課題について	(1) 市長選挙 (2) 政策アドバイザー (1) 現在の取組 (2) 民間連携 (3) 今後の取組 (1) 組織機構改革 (2) 多言語オンライン通訳 (3) 国際交流 (1) 夜間休日診療所の現状 (2) 耳鼻科開設 (3) 医療人材の確保 (1) 前橋市広瀬スポーツ・カルチャーセンター
2	35 近藤 登 (一問一答)	40	1 熊出没対策について 2 ビブリオバトルについて 3 前橋市居住支援協議会の設立について 4 技能労務職の技能継承について 5 リチウム電池の回収について 6 公用車の管理について	(1) 本市での熊出没状況 (2) 緊急銃猟への対応 (3) 熊被害防止の具体的施策 (4) 猟友会との連携 (5) 群馬県との連携 (6) 今後の展開 (1) ビブリオバトルの開催状況 (2) 学校でのビブリオバトル (3) 今後の取組 (1) 協議会設立の背景 (2) 設立の目的 (3) 今後の具体的な動き (1) 技能労務職採用数の推移 (2) 技能継承に対する懸念点 (1) 回収時の発火事故件数 (2) 分別回収 (1) NHK受信料 (2) ドライブレコーダー (3) リースと購入の比較
3	29 小林 久子 (一問一答)	23	1 物価高騰に苦しむ市民生活を支える本市の支援について 2 粕川公民館の早期改修について 3 空き家の適正管理と活用について	(1) 国の重点支援地方交付金の活用 (2) 本市独自の支援策 (1) 現状 (2) 今後の対応 (1) 空き家の解体とリフォーム補助金の拡充 (2) 適正管理への支援 (3) 空き家の活用
4	32 石塚 武 (一問一答)	30	1 群馬総社駅整備事業について 2 生涯活躍のまちづくりについて 3 地域資源を生かした新たな観光振興について 4 交通ネットワークの充実について	(1) 西口線整備における今年度の取組 (2) 今後の取組 (1) 日赤跡地生涯活躍のまち (2) 心身の健康づくり (1) スローシティ (2) 赤城山ツーリズム (3) 歴史文化芸術の活用 (1) 公共交通の利便性向上 (2) 自転車のまち前橋
5	25 新井 美加 (一問一答)	35	1 介護認定について 2 困難な問題を抱えた女性への対応について 3 シティプロモーションについて 4 おくやみ相談窓口について 5 書籍関係のイベントについて 6 前橋の健康を守る取組について	(1) 現状 (2) 課題 (1) 現状 (2) 今後の取組 (1) 事業の現状 (2) 予算 (1) 現状と課題 (2) 窓口フロントヤード改革 (1) まちなかの書籍イベントの現状と効果 (2) 今後の取組 (1) 感染症の対応状況 (2) 夜間休日診療所 (3) 看護学校

# 総括質問一覧表

(12月4日) 2/2

令和7年第4回定例会

発言 順序	氏 名	通告 時間	件 名	要 旨
6	27 三森 和也 (一問一答)	2 3	1 誰も取り残されない福祉のまち づくりについて 2 不登校対策の強化について 3 本市職員の働き方、休み方改革 について 4 介護事業所支援について	(1) 選挙における投票しやすい環境づくり (2) 前橋市障害者福祉計画 (3) 家族支援としてのきょうだい児支援 (4) 包括的支援体制整備 (1) 校内支援体制 (1) 人材確保 (2) 労働環境 (3) 育児休業取得に係る職場環境 (1) 対策強化
7	20 小 渕 一 明 (一問一答)	2 7	1 公共交通について 2 学校給食について 3 商工会の防犯灯について 4 カーブミラーの設置について 5 地域の諸課題について	(1) マイタク (2) 上毛電鉄 (1) 現状 (2) 東部共同調理場 (1) 現状 (2) 今後の対応 (1) 現状 (2) 今後の対応 (1) 街路樹 (2) 群大附中通線
8	22 林 倫 史 (一問一答)	3 6	1 屋外広告物について 2 橋梁メンテナンスについて 3 安全な道路環境の維持について 4 市政情報の発信について 5 自治会支援について 6 市街地再開発地域へのアクセス について 7 宿泊税の導入について 8 前橋空襲と復興資料館について	(1) 改正の目的 (2) 運用 (3) 景観形成の取組 (1) 修繕等措置の実施状況 (2) 持続可能な事業へ向けた取組 (1) 市道補修の現状 (2) 街路樹 (3) 今後の取組 (1) 現状 (2) 今後の取組 (1) 自治会活動アドバイザー (2) 今後の取組 (1) 渋滞対策 (1) 現状と今後の取組 (1) 現状 (2) 児童、生徒の見学 (3) 今後の取組
9	5 水 野 芳 宣 (一問一答)	2 5	1 中小企業支援について 2 道路整備について 3 地域の諸課題について	(1) 中小企業の事業における課題認識 (2) 市独自の補助金に関する具体的な検討 (3) 実施している補助金の実績 (1) 道水路整備要望の状況 (2) 生活道路後退用地整備の現状 (1) 景観、歴史まちづくりの進捗 (2) 群馬総社駅整備事業
10	9 吉 田 博 昭 (一問一答)	3 3	1 市民のにぎわい創出について 2 子供施策について 3 P T A について 4 消防事業について 5 市民生活について 6 地域の諸課題について	(1) イベントの現状 (2) 広瀬川河畔緑地の活用 (3) 課題 (4) 今後 (5) イベント出店における現状 (6) 今後の対応 (1) 子ども食堂の現状 (2) 衛生管理 (3) 今後の対応 (1) P T A の 現 況 (1) 画像伝送システムの現状 (2) 今後の予定 (1) # 7 1 1 9 の 導 入 (2) 今後の展開 (1) 部活動地域展開についての課題
11	15 吉 田 直 弘 (一問一答)	2 3	1 千代田町中心拠点地区再開発事 業の問題点について 2 前橋市立小中学校の適正規模・ 適正配置基本方針の見直しにつ いて	(1) 資金計画と財源 (2) 義務教育学校 (3) 住民合意 (1) 小規模校の存続 (2) 地域拠点としての学校の役割 (3) 住民合意

※要旨の網掛け部分は、本会議電子資料使用申出書が提出されたものです。

◇ 12月5日（金）〔第3日〕

総括質問

4日に引き続き、高橋、間仁田、堤、小川、大澤、近藤（好）、中里、中林、入澤、宮崎、岸川、阿久澤各議員から総括質問が行われ、午後4時42分に延会した。

---

議事日程第3号

第4回定例会

令和7年12月5日（金）

午前10時開議

第1 総括質問

議案第129号から第134号まで、及び議案第136号から第173号まで  
（以上44件等に対する総括質問）

# 総括質問一覧表

(12月5日) 1/2

令和7年第4回定例会

発言 順序	氏 名	通告 時間	件 名	要 旨
1	17 高橋 照代 (一問一答)	3 1	1 住宅政策について 2 文化振興について 3 ごみ減量の取組について 4 交通政策について	(1) 居住支援協議会 (2) 市営住宅の入居条件 (1) 文化施設の老朽化対策 (2) 文化施設条例施行規則 (3) ピアノ設置推進 (1) ごみ排出量の現状と課題 (2) 今後の取組 (1) 公共交通の利用状況 (2) 前橋駅北口バス乗り場 (3) 城南あおぞら号 (4) 通学時の公共交通利用の考え方
2	10 間仁田 諭 (一問一答)	3 3	1 青少年における市販薬のオーバードーズについて 2 働きやすい職場環境について 3 防災について 4 消防について 5 地域公共交通計画について 6 地域の諸課題について	(1) 市販薬のオーバードーズの対策の現状 (2) 今後の取組 (1) 休日や時間外の待機に係る手当の現状 (2) 今後 (1) 本市における現状と課題 (2) 防災倉庫 (3) 消防団の現状 (4) 課題 (5) 消防団D X (1) 職員数の現状 (2) 今後 (3) 火災調査書類作成の現状 (4) 今後の取組 (1) 方針 (2) モビリティマネジメント (1) 群馬総社駅整備による効果 (2) 郷土芸能の伝承
3	19 堤 波志芽 (一問一答)	2 5	1 物価高騰対策について 2 就職支援について 3 安心安全なまちづくりについて 4 学校教育について 5 ばら園について 6 地域の諸課題について	(1) 考え方 (1) ジョブセンターまえばし (2) 人材確保支援補助金 (1) 防犯カメラ (2) 防犯灯 (1) 小学校の統廃合 (2) 施設の在り方 (3) 市立前橋高校 (1) 現状と今後 (1) 大手門の石垣
4	11 小川 真太郎 (一問一答)	3 3	1 新教育情報ネットワークの構築について 2 市内公立幼稚園について 3 市内小中学校における平和教育について 4 教員の集金会計業務について 5 市内小中学校における宿泊を伴う旅行的行事について 6 市内小中学校における音楽活動について	(1) 現行ネットワーク環境の課題 (2) 新ネットワークにおける対策 (3) 新ネットワークの利点 (4) 入替えに伴う学校教育現場の研修計画の詳細 (5) 学校教育現場の既存データの変換作業 (6) OS移行に伴うサポート体制 (1) 定員に対する在園児数と来年度の入園希望園児数 (2) 在園児数減少の要因 (3) 今後の見通し (1) 前橋空襲と復興資料館の利用状況 (2) 戦争に関わる学習の実施状況 (3) 市内小中学校の前橋空襲と復興資料館の活用計画 (1) 教員担当の集金会計業務の現状 (2) 集金会計業務の負担軽減策 (1) 現在の実施状況 (2) 物価高騰の影響 (3) 今後の課題 (1) 前橋市児童生徒音楽会 (2) 吹奏楽部の地域展開

# 総括質問一覧表

(12月5日) 2/2

令和7年第4回定例会

発言 順序	氏 名	通告 時間	件 名	要 旨
5	13 大澤 智之 (一問一答)	2 3	1 防災におけるDXについて 2 本市におけるDXの取組について 3 マイナンバーカードについて 4 ICT教育について 5 保育所のDXについて 6 空き家対策について	(1) 災害予測と早期警戒 (2) 防災アプリの活用 (3) VRを活用した防災教育 (1) ミライズWG  (1) 利用登録 (2) 更新時期 (1) 課題と問題点 (1) 保育支援システム (2) 端末活用のサポート体制 (1) 身寄りのない空き家対策
6	28 近藤 好枝 (一問一答)	2 3	1 千代田町中心拠点地区再開発事業の見直しについて 2 社会保障の拡充で地域経済の活性化について 3 学校や子供施設利用における値上げの問題点について	(1) 民間開発の問題点 (2) 公共事業の在り方 (3) 財政の硬直化と見直し (1) 医療、介護、保育の現状と位置づけ (2) 雇用 (3) 地域経済と地域内循環 (1) 学校施設利用料 (2) 前橋こども公園のゴーカート使用料
7	31 中里 武 (一問一答)	3 1	1 千代田町中心拠点地区再開発事業における行政の責任について 2 令和8年度予算編成について	(1) ロードマップ (2) 実施設計に向けて (3) 財政負担 (4) 財政負担の縮減 (5) クリエイティブシティ構想との相乗効果 (6) 市民説明と理解 (1) 財政収支見通し (2) 新年度予算 (3) 国の物価高騰対策
8	30 中林 章 (一問一答)	2 3	1 都市計画について 2 千代田町中心拠点地区再開発事業について	(1) 本市の土地利用の在り方 (1) 開発の進捗 (2) 財政見地からの実現性 (3) 業務代行者に対する考え方
9	14 入澤 繭子 (一問一答)	2 3	1 子供について 2 教育について 3 選挙について 4 動物について	(1) こども基本条例 (2) 性暴力防止 (1) 教員不足 (1) ポスター掲示 (2) 主権者教育 (1) 福祉連携 (2) 自治会への周知
10	4 宮崎 裕紀子 (一問一答)	2 3	1 市街地エリアについて 2 図書館について 3 子育て施策について	(1) 立体駐車場の水害対策 (2) 再開発エリアの水害対策 (1) 新本館の書架や書庫 (2) 新本館ビジョン (1) ファミリー・サポート・センター (2) オヤコプラス
11	2 岸川 知己 (一問一答)	2 3	1 エネルギー政策について 2 公共空間の利活用について 3 鳥獣害対策について	(1) 市域における再生可能エネルギーの状況 (2) 庁内における再生可能エネルギーの状況 (3) 前橋版シュタットベルケの可能性 (1) 都市利便増進協定 (2) 現状 (3) 低未利用地の利活用 (1) 現状把握 (2) 熊害への新たな方策
12	1 阿久澤 萌 (一問一答)	2 3	1 農村整備について 2 有害鳥獣駆除について 3 東部地域の諸課題について	(1) 農村整備事業の役割 (2) 予算及び決算の状況 (3) 職員の負担 (4) 農村整備事業における新たな制度の検討 (1) 有害鳥獣被害の現状 (2) 有害鳥獣の駆除体制 (3) 課題への対応 (1) 東部地域における登下校の課題 (2) スクールバス

※要旨の網掛け部分は、本会議電子資料使用申出書が提出されたものです。

◇ 12月8日(月)[第4日]

総括質問、委員会付託省略、付託省略議案に対する討論、表決

5日に引き続き、山田、木部、須賀、市村、吉原、角田、下田、林(幸)各議員から総括質問が行われた。

次に上程中の議案44件について、委員会付託が省略され、吉田(直)議員から議案第132号、第136号、第139号、第145号、第152号、第154号、第157号、第162号、以上8件について反対討論、中林議員から議案第142号について反対討論が行われた。その後、表決が行われ、議案第132号、第136号、第139号、第142号、第145号、第152号、第154号、第157号及び第162号、以上9件は賛成多数で、残る議案第129号から第131号まで、第133号、第134号、第137号、第138号、第140号、第141号、第143号、第144号、第146号から第151号まで、第153号、第155号、第156号、第158号から第161号まで、及び第163号から第173号まで、以上35件は賛成全員で可決された。

この後、9日から15日までの7日間を休会と決め、午後3時7分に散会した。

---

## 議事日程第4号

第4回定例会

令和7年12月8日(月)

午前10時開議

### 第1 総括質問

議案第129号から第134号まで、及び議案第136号から第173号まで  
(以上44件等に対する総括質問・委員会付託省略、討論、表決)

休会の議決

# 総括質問一覧表

(12月8日) 1/2

令和7年第4回定例会

発言 順序	氏 名	通告 時間	件 名	要 旨
1	12 山田 秀明 (一問一答)	3 3	1 市民生活利便性向上の取組について 2 農業施策について 3 市民の安全について 4 防犯について	(1) 行政手続におけるオンライン化の進捗状況 (2) DX推進都市 (1) 協力体制 (2) 防疫施策 (3) 前橋市自然環境調査 (4) 野生動物被害対策 (1) 交通安全教育 (2) 通学における安全対策 (3) P T Aの要望 (1) 犯罪件数 (2) 防犯対策用品購入補助事業
2	7 木部 秀人 (一問一答)	2 5	1 元総社蒼海土地区画整理事業について 2 西部第一落合土地区画整理事業について 3 デジタル活用事業について 4 婚活事業について 5 移住者受入れ事業について 6 農業政策について	(1) 現状 (2) 課題 (3) 今後の取組方針 (1) 現状 (2) 課題 (3) 今後の取組方針 (1) 本市としての根本的な考え方 (2) 現状の取組 (3) 課題 (4) 今後の取組方針 (1) 本市としての根本的な考え方 (2) 現状の取組 (3) 課題 (4) 今後の取組方針 (1) 本市としての根本的な考え方 (2) 現状の取組 (3) 課題 (4) 今後の取組方針 (1) 本市の中山間地域における農業の現状 (2) 課題 (3) 現状の本市の関わり方と今後の取組方針
3	23 須賀 博史 (一問一答)	3 3	1 行財政改革推進計画について 2 図書館について 3 学校施設利用について 4 第八次総合計画について 5 環境政策について	(1) 概要 (2) 多様なワークスタイル (3) 大規模公園の公園管理業務における民間委託の拡大 (1) 整備の計画 (2) 整備の現状 (3) 今後の進め方 (1) キーボックス (2) 今後の運用 (1) 基本的な考え方 (2) スケジュール (1) ごみ総排出量
4	18 市村 均光 (一問一答)	2 5	1 教育行政について 2 農業について 3 空き家について 4 企業立地の推進について	(1) 継続不登校児童生徒数 (2) 不登校児童生徒オンライン支援事業 (3) 教育支援教室等利用者支援事業補助金 (4) 個別最適化された学び (5) 部活動地域展開 (1) 農地の管理 (2) 遊休農地 (3) 新規就農者の土地確保 (1) 相談及び対応状況 (2) 解決策 (1) 産業振興ビジョン (2) 新部署設置の狙い

# 総括質問一覧表

(12月8日) 2/2

令和7年第4回定例会

発言 順序	氏 名	通告 時間	件 名	要 旨
5	3 吉原大輔 (一問一答)	2 3	1 水道料金のさらなる値上げの問題点について 2 住みやすい市営住宅のための抜本的な改善について 3 道路の安全対策について	(1) 令和12年度からの財政計画での値上げ方針 (2) 市民生活への影響 (3) 市民への支援 (1) 長寿命化計画 (2) 空き部屋解消対策 (3) 入居者負担の軽減 (4) 広瀬団地PFI事業 (1) カーブミラー設置 (2) 市の所有地の雑草、土砂の除去
6	26 角田修一 (一問一答)	2 3	1 基幹的農業従事者について 2 窓口開閉時間について 3 学校施設利用促進事業について	(1) 農業従事者支援 (2) 兼業農家支援 (3) 農地バンク (1) 現状 (2) 業務改善 (1) 学校施設の利用状況 (2) 利用団体への周知 (3) 学校施設のさらなる充実
7	6 下田一成 (一問一答)	2 5	1 農業について 2 部活動の地域展開について 3 ウェルビーイングについて 4 ふるさと納税について 5 友好都市について 6 公園管理について 7 赤城山観光について	(1) 認定新規就農者の実績 (2) 認定新規就農者の支援 (1) 指導者 (2) 大会 (3) 各団体との調整 (1) 幸福度 (2) 前橋市の視点 (3) 若年層の流出 (1) 現状 (2) 今後の展開 (1) 現状 (2) 見通し (1) 民間との共同管理の概要 (1) トイレの現状 (2) 今後の計画
8	21 林 幸一 (一問一答)	2 5	1 クリエイティブシティ構想について 2 都市計画道路の整備について 3 水道事業について 4 斎場の火葬について 5 職員の健康について 6 地域の諸課題について	(1) 構想の経緯 (2) 交通規制 (3) 将来の方向性 (1) 周辺道路整備 (2) 都市計画道路整備 (1) 小規模簡易デザインビルド (2) 導入経緯 (1) 火葬料金 (2) 多死時代への対応 (1) メンタルヘルス (2) アンケート (3) ハラスメント (1) 公園遊具の整備 (2) 上新田前箱田線

※要旨の網掛け部分は、本会議電子資料使用申出書が提出されたものです。

## 討 論 一 覧 表

(委員会付託省略議案)

令和7年12月8日

発言 順序	氏 名	賛 否	摘 要
1	15 吉 田 直 弘	反 対	第132号、第136号、第139号、 第145号、第152号、第154号、 第157号、第162号
2	30 中 林 章	反 対	第142号

## 表 決 順 序 調 べ

(委員会付託省略議案)

令和7年12月8日

表決 順序	議 案 番 号	摘 要
1	第132号、第136号、第139号、 第145号、第152号、第154号、 第157号、第162号  (以上8件)	共 産 党 反 対
2	第142号  (以上1件)	七 星 反 対
3	第129号から第131号まで、第133号、 第134号、第137号、第138号、 第140号、第141号、第143号、 第144号、第146号から第151号まで、 第153号、第155号、第156号、 第158号から第161号まで、 第163号から第173号まで  (以上35件)	全 員 賛 成

◇ 12月16日（火）〔第5日〕

市長職務代理者提出追加議案の上程、表決、議会議案の上程、討論、表決、意見書案の上程、表決、市長職務代理者挨拶

事務局長の諸般の報告の後、議事に入り、公平委員会の委員に福島英人さんを選任する人事議案が上程され、表決の結果、賛成全員で同意された。

次に、「市長において専決処分することができる事項の指定の改正について」の議会議案1件が上程され、提出者を代表して、小曾根議員から提案理由の説明の後、近藤（好）議員から反対討論が行われ、表決の結果、賛成多数で原案のとおり可決された。

続いて、意見書案第32号「太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書」以下7件が上程され、表決の結果、意見書案第32号及び第33号の2件は賛成全員、第34号及び第35号の2件は賛成多数で原案のとおり可決され、第36号から第38号までの3件は賛成少数で否決された。

以上全ての審議終了後、細谷市長職務代理者から挨拶があり、午後1時20分に第4回定例会は閉会した。

---

議事日程第5号

第4回定例会

令和7年12月16日（火）

午後1時開議

第1 市長職務代理者提出追加議案の上程

議案第174号 公平委員会の委員の選任について

（上程・説明、質疑、討論、表決）

第2 議会議案の上程

議会議案第3号 市長において専決処分することができる事項の指定の改正について

（上程・説明、質疑、討論、表決）

第3 意見書案の上程

意見書案第32号 太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書

意見書案第33号 巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書

意見書案第34号 大学病院の経営支援と機能強化を求める意見書

意見書案第35号 地方自治法第178条の見直しを求める意見書

意見書案第36号 タネ（種子）を守る2法案の成立を求める意見書

意見書案第37号 地域医療を守る診療報酬の緊急改定を求める意見書

意見書案第38号 気候危機打開へ温室効果ガスの削減目標に関する意見書

（以上7件一括上程・説明、質疑、討論、表決）

議会議案第 3 号

市長において専決処分することができる事項の指定の改正について

令和 7 年 1 2 月 1 6 日提出

提出者

前橋市議会議員	小曾根	英	明
同	近藤		登
同	新井	美	加
同	小淵	一	明
同	堤		波志芽
同	石塚		武
同	角田	修	一

市長において専決処分することができる事項の指定の改正について

市長において専決処分することができる事項の指定について（昭和 4 8 年 9 月 2 2 日議決）の一部を次のように改正する。

本則に次の 1 項を加える。

- 3 議会の議決を経て締結した工事請負契約について、当該契約金額に 1 0 0 分の 1 0 を乗じて得た額（その額が 1, 5 0 0 万円を超える場合は、1, 5 0 0 万円）以下の金額に係る変更契約を締結すること。

「注」 本議決は、議決の日以後に締結する改正後の本則第 3 項に規定する変更契約から適用する。

令和7年第4回定例会

## 討 論 一 覧 表

(議会議案第3号)

令和7年12月16日

発言順序	氏 名	賛 否
1	28 近 藤 好 枝	反 対

## 表 決 調 べ

(議会議案第3号)

令和7年12月16日

表決 順序	議 案 番 号	摘 要
1	議会議案第3号	共 産 党 反 対

## 意見書案一覧表

意見書案第32号	太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書
意見書案第33号	巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書
意見書案第34号	大学病院の経営支援と機能強化を求める意見書
意見書案第35号	地方自治法第178条の見直しを求める意見書
意見書案第36号	タネ（種子）を守る2法案の成立を求める意見書
意見書案第37号	地域医療を守る診療報酬の緊急改定を求める意見書
意見書案第38号	気候危機打開へ温室効果ガスの削減目標に関する意見書

意見書案第 32 号

令和 7 年 12 月 16 日提出

令和 7 年 12 月 16 日可決

提出者	市議会議員	窪田	出
	同	堤	波志芽
	同	吉原	大輔
	同	水野	芳宣
	同	小川	真太郎
	同	山田	秀明
	同	大澤	智之
	同	明野	康剛
	同	市村	均光

## 太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書

近年、再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、全国各地で太陽光発電設備が急速に普及している。特に固定価格買取制度（FIT）の導入以降、多くの設備が設置され、地域の脱炭素化やエネルギーの地産地消に寄与してきた。

しかしながら、制度開始から13年が経過する中で、設置当初の太陽光パネルが寿命を迎え、大量のリユース・リサイクル・廃棄の問題が顕在化しつつある。不法投棄や不適切な処理への懸念も生じており、環境負荷の低減と資源循環の確保が急務である。

再生可能エネルギーの推進と循環型社会の実現は、持続可能な地域づくりの両輪であるとともに、太陽光発電設備のライフサイクル全体を見据えた政策支援が不可欠である。

よって、国においては、太陽光発電設備の廃棄・リサイクルに関する制度整備や支援を強化し、地方自治体が適正な処理と資源循環を推進できる体制構築に向けて、次の事項について速やかに対応されるよう強く要望する。

### 記

#### 1 太陽光パネルのリサイクル技術及びシステムの推進

廃棄される太陽光パネルから有用な資源（シリコン、銀、ガラス等）を回収・再利用するため、国として研究開発支援及びリサイクル施設の整備促進を図ること。

#### 2 太陽光パネル廃棄物の適正処理体制の強化

廃棄時における発電事業者や施工業者の責任を明確化し、適切な処理ルート確保、不法投棄防止策、処理業者の認定制度の充実を進めること。

#### 3 地方自治体への支援拡充

地方自治体が廃棄物処理やリサイクル推進の現場で重要な役割を担うことから、必要な財政的支援・技術的助言など、国による包括的な支援体制を強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 7 年 12 月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

総務大臣

経済産業大臣

環境大臣

前橋市議会議員 富田 公 隆

意見書案第 33 号

令和 7 年 12 月 16 日提出

令和 7 年 12 月 16 日可決

提出者	市議会議員	窪田	出
	同	堤	波志芽
	同	吉原	大輔
	同	水野	芳宣
	同	小川	真太郎
	同	山田	秀明
	同	大澤	智之
	同	明野	康剛
	同	市村	均光

## 巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書

近年、我が国では地震・台風・豪雨など自然災害が頻発しており、国民の生命・生活・経済活動に甚大な被害をもたらしている。特に、今後発生が懸念される東海、南海トラフ地震や首都直下地震、さらには富士山噴火等の巨大災害は、我が国全体に極めて深刻な影響を及ぼすことが想定されている。

このような状況を踏まえ、政府は「防災庁」の設置を決定し、災害に強い国づくりを目指して体制整備を進めているが、実際の災害対応においては、地方自治体・地域住民・民間団体・ボランティア組織などとの連携強化が不可欠である。

よって、国においては、国民の命と暮らしを守るために、災害に強い国づくりの実現に向けて、次の事項について速やかに対応されるよう強く要望する。

### 記

- 1 東海、南海トラフ地震や首都直下地震等の発生に備え、発災時における国の支援体制を一層強化し、被災地への人員・物資・情報支援が円滑かつ迅速に行われる仕組みを確立すること。
- 2 各地方自治体と連携し、災害時の情報共有体制、避難計画、医療・福祉・インフラ維持などの分野での協働体制を平時から確実に整備・確認すること。
- 3 新設される防災庁においては、中央政府と地方自治体、各種支援団体との緊密な連携を図り、災害対応の一元化・迅速化を実現するための機能を強化すること。
- 4 国の防災施策や制度変更については、地方自治体に対して十分な説明責任を果たし、人的・財政的支援を適切に講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 7 年 12 月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

総務大臣

内閣府特命担当大臣（防災）

前橋市議会議員 富田 公 隆

意見書案第34号

令和7年12月16日提出

令和7年12月16日可決

提出者 市議会議員 角 田 修 一  
同 小 湊 一 明  
同 石 塚 武

## 大学病院の経営支援と機能強化を求める意見書

大学病院においては、光熱水費の高騰や人件費の上昇等により、令和6年度は国公立会計で508億円の赤字となった。また、国立大学病院長会議において「令和7年度はより一層厳しい状況。現金収支のマイナス病院は、令和6年度と比較して、25病院から8病院増えて33病院。令和7年度の損益見込みは400億円を超える可能性」を明らかにした。

特定機能病院がおもとを占める大学病院は、他の病院では通常提供が困難な診療を行うことが求められており、最先端の設備や多数の質の高い医療人材等が必要であり、多額の費用がかかる構造となっている。

しかし、現在の診療報酬は、光熱水費の高騰や人件費の上昇等に見合ったものではなく、赤字が拡大している現状である。

このままでは大学病院の教育、研究、高度医療の提供、全国の医療機関への医師派遣等の特別な機能が維持できず、地域医療が崩壊し、ひいては我が国の医療水準の維持にも関わる危機的な状況となってしまう。

大学病院は、地域医療の最後のとりでであり、継続的に高度医療を提供し、地域医療を維持するには、物価や賃金の上昇、医療の高度化等に対応した診療報酬水準への抜本的な見直し等を含めた取組を進めるべきである。

よって、国においては、大学病院の経営支援と機能強化を、強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年12月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

総務大臣 あて

財務大臣

文部科学大臣

厚生労働大臣

前橋市議会議員 富 田 公 隆

意見書案第35号

令和7年12月16日提出

令和7年12月16日可決

提出者 市議会議員 角 田 修 一  
同 三 森 和 也  
同 大 澤 智 之  
同 小曾根 英 明

## 地方自治法第178条の見直しを求める意見書

我が国の基礎自治体である市町村を単位とした地方公共団体は、当該普通地方公共団体住民による直接選挙を経て、「執行機関」である首長と「議事機関」である議会による二元代表制の下、それぞれが地方自治法の本旨に基づき住民の福祉増進を図るため、住民代表として対等な立場で、不断の政策議論を重ねその機能を担っている。

しかし、近年、学歴詐称問題等、首長の資質に関わり、当該自治体での各起因はあるものの、議会による不信任決議案提出及び可決に及んだことを機に議会解散を選択する事例が見受けられる。

当該普通地方公共団体における任期満了前の本来不必要な議員選挙や首長選挙の執行費用負担となるだけでなく、選挙に伴う行政運営の空白期間を招き、住民福祉増進のための不断の政策議論形成とは相反する事態が起きている。

このような中であって、地方自治法第178条の首長による「議会解散権」の在り方に注目が集まっている。

政策や行政運営上での対立により住民判断を求める議会解散とは筋違いな議会解散権の濫用と受け止めざるを得ない行為を予防し、公正公平な二元代表制に基づく地方公共団体運営のための法的見直しが喫緊の課題として浮上している。

よって、国においては、地方自治法第178条規定の首長による議会に起因していない議会解散権行使に関し、速やかな見直しを図るよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年12月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

総務大臣

前橋市議会議員 富 田 公 隆

意見書案第36号

令和7年12月16日提出

令和7年12月16日否決

提出者 市議会議員 角 田 修 一  
同 三 森 和 也  
同 大 澤 智 之

## タネ（種子）を守る2法案の成立を求める意見書

主要農作物種子法（以下「種子法」という。）は1952年当時、戦後間もない状況で慢性的な食料不足に悩まされ、食料の増産が国家的な要請となる中、国民の基礎的食料である米、麦、大豆の優良な種子の生産と普及を進める観点からつくられた法律である。この法律により、都道府県の公的研究機関が品種改良を行い、品質が確保されたおいしい穀物の種子が安価で安定的に生産者に供給された結果、安心して安全な食糧が流通し、日本の食卓を支えてきた歴史がある。

しかし政府は、種子法が民間企業の品種開発意欲を阻害しているなどとして、法律を廃止したことにより、予算が安定的に確保されず、都道府県での種子の開発が困難になった。また、併せて成立した農業競争力強化支援法で、国が講ずる措置として「試験研究機関及び都道府県が有する種苗の生産に関する知見の民間事業者への提供を促進すること」が明記された。知見の提供を受けた海外も含めた大資本企業が参入し、「種子の権利」を支配されれば、供給の不安定化や価格高騰、在来の多様な種子の資源消失といった懸念が生じる。日本の主要農作物の種子をそうした事態から守らなければならない。

種子は農と食を支える根幹であり、国民共有の財産でもある。種子の確保は国の安全保障の問題であるとも言える。現在は種子法廃止を受けて、全国の道県は独自に種子の安定的な供給等に関する条例を制定している。

また、2024年には、食料・農業・農村基本法が制定後四半世紀を経た中で改正され、「食料安全保障の確保」が重要な柱の一つと位置づけられたが、食料安全保障を確保する上で種子の安定的な供給が極めて重要であることは言うまでもない。

こうしたことから、種子を守り、その生産と普及を進めるための法律が必要不可欠である。

よって、国においては、廃止された種子法に代わる「タネ（種子）を守る2法案」（農業用植物の優良な品種を確保するための公的新品種育成の促進等に関する法律案、地域在来品種等の種苗の保存及び利用等の促進に関する法律案）を早期に成立させ、食物の源である種子の多様性の確保や公的新品種育成の促進を図ることにより、日本の主要農作物の安定供給について、一層強力に推進していくことを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年12月 日  
衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣 あて  
総務大臣  
農林水産大臣

前橋市議会議員 富 田 公 隆

意見書案第37号

令和7年12月16日提出

令和7年12月16日否決

提出者 市議会議員 近藤好枝  
同 小林久子  
同 吉田直弘  
同 吉原大輔

## 地域医療を守る診療報酬の緊急改定を求める意見書

近年の物価高の影響により、全国的に病院経営は危機的状況にある。

一般社団法人日本病院会、公益社団法人全日本病院協会、一般社団法人日本医療法人協会、公益社団法人日本精神科病院協会、一般社団法人日本慢性期医療協会、公益社団法人全国自治体病院協議会の6病院団体は、2024年度診療報酬改定後、深刻になっている全国の病院の経営状況を公表した。経常赤字の病院は全国で61.2%に上ることが明らかにされている。

帝国データバンクの「医療機関の倒産動向調査」によると、2025年上半期の医療機関の倒産は35件で、過去最多を記録した2024年を上回る水準で推移しており、地域医療は非常に厳しい状況に置かれている。

その背景には、医療資機材の価格高騰に加え、医療従事者の人員不足による時間外勤務増加に伴う人件費や光熱費、病院給食の食材費の高騰などがあり、地域の病院経営を圧迫する要因となっている。そのため診療報酬の大幅な引上げは、安全安心の医療提供体制を確保する上でも喫緊の課題である。

また看護現場では、慢性的な人手不足が解消せず、看護師確保のために紹介会社に支払う高額な紹介料が問題になっている。そのため看護師確保、離職防止に欠かせない賃上げなどができず、かえって賃金や一時金削減の要因となり、看護師確保をますます困難にしている現状にある。

日本医療労働組合連合会の調査は、4月の新規採用で約4割の医療機関が必要な看護師を確保できず、年間の採用者数よりも退職者数の方が上回った医療機関が6割に上ることを明らかにしている。看護師不足がさらに進むと、これまで以上に病棟閉鎖や病床削減、入院制限など医療提供体制が縮小されるおそれがある。地域住民の生命を守るために必要な地域医療体制を確保するためにも、全ての医療従事者の処遇改善が求められている。

よって、国に対し、地域医療を守る診療報酬の緊急改定を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年12月 日  
衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣 あて  
総務大臣  
厚生労働大臣

前橋市議会議員 富田公隆

意見書案第38号

令和7年12月16日提出

令和7年12月16日否決

提出者 市議会議員 近藤好枝  
同 小林久子  
同 吉田直弘  
同 吉原大輔

## 気候危機打開へ温室効果ガスの削減目標に関する意見書

気候変動による異常気象が続き、各地で想定を超える豪雨災害が頻発している。こうした影響で、農業や水産業などに大きな打撃を与えている。今こそ、気候危機の打開は人類と地球にとって待ったなしの課題であり、直ちに抜本的な対策強化が求められている。

国際的な指標となっているパリ協定で、国際連合は気候危機を回避するために不可欠な「地球の気温上昇を産業革命前の水準から1.5度に抑える目標」（COP21、国連気候変動枠組条約第21回締約国会議）を達成するための削減目標を掲げている。

そのため、各国では2030年までに世界の再生可能エネルギー容量を3倍にし、エネルギー効率改善率を2倍とするという目標で合意した。2024年のG7気候・エネルギー・環境大臣会合では、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の「排出削減対策のない」石炭火力発電を2030年代前半までに段階的に廃止することで合意し、共同声明に盛り込み、イギリスは昨年9月末、最後の石炭火力を停止した。また、本年11月にブラジル・ベレンで開催されたCOP30は熱帯林保護のための基金が設立された。

一方、世界第5位の排出大国である日本は、より高い排出削減目標を掲げる必要がある。しかし、日本政府が今年2月、国連に報告した削減目標は2035年度までに2013年度比で60%にとどまっており、国連の要請である削減目標の2013年度比66%よりも低いことは大きな問題であり、国際社会から強い批判を受けている。

国内においても、脱炭素社会の実現を目指す企業グループからも2013年度比で75%以上、国際環境NGO団体などからも2013年度比で81%の削減目標を求める声が上がっている。

よって、政府に対して、気候危機打開へ温室効果ガスの削減目標に対し、国際社会に対して果たすべき日本の責任にふさわしく、少なくとも2013年度比で75%以上の排出削減目標とするよう求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年12月 日  
内閣総理大臣 あて  
環境大臣

前橋市議会議員 富田 公 隆

## ◇ 会 議 結 果

令和7年第4回定例会

1 開 会 令和7年11月27日

2 閉 会 令和7年12月16日

3 会 期 20日間

4 会議時間

11月27日 午後1時 4分から午後2時 6分まで

12月 4日 午前9時55分から午後4時52分まで

12月 5日 午前9時56分から午後4時42分まで

12月 8日 午前9時57分から午後3時 7分まで

12月16日 午後0時57分から午後1時20分まで

5 出席議員

第1日（11月27日） 出席37人 欠席0人

第2日（12月 4日） 出席37人 欠席0人

第3日（12月 5日） 出席37人 欠席0人

第4日（12月 8日） 出席37人 欠席0人

第5日（12月16日） 出席37人 欠席0人

6 会議状況

件 名	議決年月日	議決の結果
○会期の決定 11月27日（木）～12月16日（火）	7.11.27	20日間
○会議録署名議員の指名	7.11.27	間仁田 諭 小川真太郎 山田 秀明
○市長の退職期日同意の件	7.11.27	同 意
○議会議案の上程 議会議案第 3号 市長において専決処分することができる事項の指 定の改正について	7.12.16	可 決
○市長提出議案の上程 議案第129号 令和7年度前橋市一般会計補正予算	7.12. 8	可 決
議案第130号 令和7年度前橋市後期高齢者医療特別会計補正予算	〃	〃
議案第131号 令和7年度前橋市介護保険特別会計補正予算	〃	〃
議案第132号 令和7年度前橋市産業立地推進事業特別会計補正予算	〃	〃
議案第133号 令和7年度前橋市水道事業会計補正予算	〃	〃
議案第134号 令和7年度前橋市下水道事業会計補正予算	〃	〃

件名	議決年月日	議決の結果
議案第136号 前橋市部設置条例の改正について	7.12. 8	可 決
議案第137号 前橋市職員等の旅費に関する条例の改正について	〃	〃
議案第138号 前橋市公契約基本条例の改正について	〃	〃
議案第139号 前橋市防災会議に関する条例の改正について	〃	〃
議案第140号 前橋市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の改正について	〃	〃
議案第141号 道の駅まえばし赤城の設置及び管理に関する条例の改正について	〃	〃
議案第142号 前橋市こども基本条例の制定について	〃	〃
議案第143号 児童福祉法等の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	〃	〃
議案第144号 前橋市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の改正について	〃	〃
議案第145号 前橋市福祉医療費の支給に関する条例の改正について	〃	〃
議案第146号 前橋市屋外広告物条例の改正について	〃	〃
議案第147号 前橋市道路占用料徴収条例の改正について	〃	〃
議案第148号 前橋市営納骨堂条例の改正について	〃	〃
議案第149号 前橋市火災予防条例の改正について	〃	〃
議案第150号 前橋市立学校職員の給与等に関する条例の改正について	〃	〃
議案第151号 前橋市学校問題対策専門委員会設置条例の改正について	〃	〃
議案第152号 前橋市公園条例の改正について	〃	〃
議案第153号 前橋市議会議員及び前橋市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の改正について	〃	〃
議案第154号 公の施設の指定管理者の指定について(前橋市総合福祉会館ほか)	〃	〃
議案第155号 公の施設の指定管理者の指定について(千代田町二丁目立体駐車場ほか)	〃	〃
議案第156号 公の施設の指定管理者の指定について(前橋駅東側自転車等駐車場ほか)	〃	〃
議案第157号 公の施設の指定管理者の指定について(前橋市林間研修施設おおさる山乃家)	〃	〃
議案第158号 工事請負契約の締結について(市庁舎外壁シーリングほか改修工事)	〃	〃
議案第159号 工事請負契約の締結について(天川小学校南校舎長寿命化改良建築工事)	〃	〃
議案第160号 工事請負契約の締結について(細井小学校中校舎長寿命化改良建築工事)	〃	〃
議案第161号 工事請負契約の締結について(上川淵公民館大規模改修及び増築建築工事)	〃	〃

件名	議決年月日	議決の結果
議案第162号 工事請負契約締結の議決事項の変更について(駒寄スマートIC産業団地造成事業雨水調整池築造工事)	7.12. 8	可 決
議案第163号 工事請負契約締結の議決事項の変更について(橋梁長寿命化修繕工事)	〃	〃
議案第164号 物品の購入について(消防ポンプ自動車)	〃	〃
議案第165号 物品の購入について(消防ポンプ自動車ぎ装)	〃	〃
議案第166号 物品の購入について(消防ポンプ自動車シャーシ)	〃	〃
議案第167号 物品の購入について(Chrome book)	〃	〃
議案第168号 財産の譲与について(苗ヶ島町地内部分木)	〃	〃
議案第169号 財産の譲与について(粕川町室沢地内部分木)	〃	〃
議案第170号 市道の認定について	〃	〃
議案第171号 市道の廃止について	〃	〃
議案第172号 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	〃	〃
議案第173号 群馬県市町村総合事務組合の災害弔慰金の支給等に関する事務に係る共同処理の取りやめに伴う財産処分に関する協議について	〃	〃
○市長職務代理者提出追加議案の上程		
議案第174号 公平委員会の委員の選任について	7.12.16	同 意
○意見書案の上程		
意見書案第32号 太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書	7.12.16	可 決
意見書案第33号 巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書	〃	〃
意見書案第34号 大学病院の経営支援と機能強化を求める意見書	〃	〃
意見書案第35号 地方自治法第178条の見直しを求める意見書	〃	〃
意見書案第36号 タネ(種子)を守る2法案の成立を求める意見書	〃	否 決
意見書案第37号 地域医療を守る診療報酬の緊急改定を求める意見書	〃	〃
意見書案第38号 気候危機打開へ温室効果ガスの削減目標に関する意見書	〃	〃

# —— 議 会 運 営 委 員 会 ——

日時・場所 11月27日(木) 議会運営委員会室  
開議 午前10時9分 散会 午前10時14分  
出席委員 窪田委員長、堤副委員長、小淵、角田、近藤(好)、石塚、近藤(登)、小曾根  
各委員  
当局出席者 細谷副市長、総務部長、秘書、文書法制各課長

## 1 金井議員のご逝去に伴う黙禱及び追悼の言葉について

本会議開会に先立ち、故金井議員のご冥福をお祈りし、黙禱をささげることで確認され、黙禱に続いて、小曾根議員に追悼の言葉をお願いすることで確認された。

なお、いずれも、事務局長の進行で行われることで確認された。

## 2 議事日程第1号について

### (1) 会期の決定

会期は、本日から12月16日までの20日間とすることで確認された。

### (2) 会議録署名議員の指名

会議録署名議員については順番により、10番・間仁田議員、11番・小川議員、12番・山田議員の3名を指名する予定で確認された。

### (3) 市長提出議案の上程

昨日の各派代表者会議で確認されたとおり、議案第135号は取下げとなったため、議案第129号から第134号まで、及び第136号から第173号まで、以上44件を一括上程し、各議案の説明を当局より求めることとされた。

なお、総務部長から当局の説明所要時間はおおむね55分との報告があった。

### (4) 市長の退職期日同意の件

11月26日の議会運営委員会で確認されたとおり、小川市長から退職願の提出があり、11月27日付の退職について同意を求められている件について、議題とし、質疑、討論、表決を行うこととされた。

なお、この際、市長から発言を求められているため、発言を許可した後、委員会付託を省略し、質疑、討論はなしとすることで確認された。

### (5) 休会の議決

議事の都合上、28日から12月3日までの6日間を休会とすることで確認された。

## 3 その他

### (1) 総括質問について

別紙総括質問時間割(31ページ参照)のとおり31名から通告があり確認された。

なお、質問事項の通告は、本日午後4時までに申し出ることとされた。

また、質問事項に重複等があった場合の変更については、28日午後4時までに申し出ることとされ

た。

**(2) 議案の委員会付託について**

本定例会は従前同様の取扱いとし、委員会付託を省略することで確認された。

**(3) 請願・意見書案について**

請願については提出がなく、意見書案7件の提出があり、提出された意見書案の取扱いについては従前同様、各会派に持ち帰り、次期議会運営委員会で各会派の検討結果を報告することとされた。

また、起草委員会は12月9日午前10時から開催することとされ、起草委員についても次期議会運営委員会で氏名を報告することとされた。

**(4) 次期議会運営委員会の日程について**

12月4日(木)午前9時から行うこととされた。

**(5) 本会議の映像撮影について**

議事課長から、NHK、群馬テレビ、日本テレビ、テレビ朝日、TBSテレビ、フジテレビ、読売テレビ及び時事通信社から本日の本会議の映像撮影の申出があったので、承知おき願う旨の連絡があった。

**(6) 傍聴席での手話通訳について**

議事課長から、傍聴席で手話通訳が行われる予定であるので承知おき願うと発言があった。

## 令和7年第4回定例会 総括質問時間割

月日	順序	議員	通告時間	備考
12月4日 (木)	1	佐藤 祥平	30分	
	2	近藤 登	40分	
	3	小林 久子	23分	
	4	石塚 武	30分	
				休憩予定
	5	新井 美加	35分	
	6	三森 和也	23分	
	7	小淵 一明	27分	
	8	林 倫史	36分	
				休憩予定
	9	水野 芳宣	25分	
10	吉田 博昭	33分		
11	吉田 直弘	23分		
12月5日 (金)	12	高橋 照代	31分	
	13	間仁田 諭	33分	
	14	堤 波志芽	25分	
	15	小川 真太郎	33分	
				休憩予定
	16	大澤 智之	23分	
	17	近藤 好枝	23分	
	18	中里 武	31分	
	19	中林 章	23分	
	20	入澤 繭子	23分	
			休憩予定	
21	宮崎 裕紀子	23分		
22	岸川 知己	23分		
23	阿久澤 萌	23分		
12月8日 (月)	24	山田 秀明	33分	
	25	木部 秀人	25分	
	26	須賀 博史	33分	
	27	市村 均光	25分	
				休憩予定
	28	吉原 大輔	23分	
	29	角田 修一	23分	
	30	下田 一成	25分	
31	林 幸一	25分		

×

×

日時・場所 12月4日(木) 議会運営委員会室  
開議 午前8時56分 散会 午前9時2分  
出席委員 窪田委員長、堤副委員長、小淵、角田、近藤(好)、石塚、近藤(登)、小曾根  
各委員  
当局出席者 細谷副市長、総務部長、秘書、文書法制各課長

## 1 議事日程第2号について

### (1) 総括質問

本日の総括質問は、佐藤議員以下11名とすることで確認された。

また、質問順序、質問事項等について、別紙総括質問一覧表(6ページ～7ページ参照)のとおり確認された。

### (2) 休憩の時刻

昼休みは石塚議員の質問終了後、午後の休憩は林(倫)議員の質問終了後に予定し、時間によっては、変更もあるということで確認された。

## 2 その他

### (1) 討論通告・表決調べの締め切りについて

議案第129号から第134号まで、及び第136号から第173号まで、以上44件の付託省略議案は、8日の総括質問終了後、討論、表決を行い、討論通告及び表決調べについては、事務の都合上、5日のお昼休憩終了までとすることで確認された。

### (2) 意見書案について

11月27日の議会運営委員会で、各会派持ち帰り検討となっていた意見書案について、各会派から意見が発表され、4番「太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書」及び5番「巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書」、以上2件について、各会派の意見の一致が見られたため、今後起草委員会で文言修正を含め検討、精査することとされた。

続いて、各会派の起草委員は次のとおり選出され、起草委員会は、11月27日の議会運営委員会で確認されたとおり、9日午前10時から議会運営委員会室で開催することとされた。

前橋高志会 山田議員、小川議員、前橋令明 市村議員、水野議員、共産党 吉原議員、  
公明党 明野議員、まえばし市民クラブ 大澤議員  
議会運営委員会正副委員長 窪田議員、堤議員

なお、意見書案の表決調べ等については、議題にあるとおり、まず、起草委員会にかからない意見書案については、提出会派は提案者と文案を決め、9日午後3時までに事務局へ報告し、その後、事務局で整理し各会派へ意見書案と表決調べの一覧を配付することとされた。次に、表決調べに賛否を記入の

上、10日午後3時までに事務局に提出することで確認された。

**(3) 次期議会運営委員会の日程について**

12月5日(金)午前9時から行うこととされた。

**(4) 本会議の欠席について**

総務部長から、猪俣副市長は、群馬県市長会を代表し、市長代理として沖縄での慰霊参拝事業に出席する必要があるため、12月16日の本会議を欠席することが報告された。

×

×

日時・場所	12月5日(金)	議会運営委員会室
	開議 午前8時57分	散会 午前8時59分
出席委員	窪田委員長、堤副委員長、小淵、角田、石塚、近藤(登)、小曾根各委員、 委員外議員：小林議員	
当局出席者	細谷副市長、総務部長、秘書、文書法制各課長	

**1 議事日程第3号について**

**(1) 総括質問**

本日の総括質問は、高橋議員以下12名とすることで確認された。

また、質問順序、質問事項等について、別紙総括質問一覧表(9ページ～10ページ参照)のとおり確認された。

**(2) 休憩の時刻**

昼休みは小川議員の質問終了後、午後の休憩は入澤議員の質問終了後に予定し、時間によっては、変更もあるということを確認された。

**2 その他**

**(1) 次期議会運営委員会の日程について**

12月8日(月)午前9時から行うこととされた。

×

×

日時・場所	12月8日(月)	議会運営委員会室
	開議 午前9時5分	散会 午前9時9分
出席委員	窪田委員長、堤副委員長、小淵、角田、近藤(好)、石塚、近藤(登)、小曾根 各委員	
当局出席者	細谷副市長、総務部長、秘書、文書法制各課長	

## 1 議事日程第4号について

### (1) 総括質問

本日の総括質問は、山田議員以下8名とすることで確認された。

また、質問順序、質問事項等について、別紙総括質問一覧表（12ページ～13ページ参照）のとおり確認された。

### (2) 休憩の時刻

昼休みは市村議員の質問終了後、また、質問通告時間の合計からすると午後3時を越えないため、午後の休憩はとらずに進行する予定とし、時間によっては、変更もあるということで確認された。

### (3) 委員会付託省略

### (4) 討論

### (5) 表決

上程中の議案の委員会付託については、11月27日の議会運営委員会での確認に基づき省略することとし、討論、表決を行うこととされた。

なお、討論については、吉田（直）議員、中林議員から通告があり、表決については、別紙表決順序調べ（14ページ参照）のとおり、3回に分けて行うこととされ、初めに議案第132号、第136号、第139号、第145号、第152号、第154号、第157号及び第162号、以上8件を一括して表決し、次に議案第142号を表決し、次に残る議案第129号から第131号まで、第133号、第134号、第137号、第138号、第140号、第141号、第143号、第144号、第146号から第151号まで、第153号、第155号、第156号、第158号から第161号まで及び第163号から第173号まで、以上35件を一括して表決することで、併せて確認された。

### (6) 休会の議決

9日から15日までの7日間を、休会とすることで確認された。

## 2 その他

### (1) 議会議案について

12月8日の各派代表者会議において確認された議会議案については、最終日の16日に上程することで確認された。

提案理由の説明、質疑、討論がある場合は、10日午後3時までに、事務局に申出、または通告することで確認された。

また、表決調べについても、同じく10日午後3時までに事務局に提出することとされた。

なお、表決調べは紙で事務局へ提出することで確認された。

### (2) 次期議会運営委員会の日程について

12月16日（火）午前10時から行うこととされた。

×

×

日時・場所 12月16日（火） 議会運営委員会室

開議 午前10時3分 散会 午前10時7分

出席委員 窪田委員長、堤副委員長、小淵、角田、近藤（好）、石塚、近藤（登）、小曾根各委員

当局出席者 細谷副市長、総務部長、秘書、文書法制各課長

## 1 議事日程第5号について

### (1) 市長職務代理者提出追加議案の上程

市長職務代理者提出追加議案である議案第174号を上程し、説明、質疑、討論、表決を行うこととされた。

なお、質疑、討論はなし、委員会付託は省略することで確認された。

### (2) 議会議案の上程

12月8日の各派代表者会議において確認されたとおり、議会議案第3号 市長において専決処分することができる事項の指定の改正についてを上程し、提案理由の説明、質疑、討論、表決の順に進めることとされた。

提案理由説明については、小曾根議員から申出があり、登壇して行い、質疑はなし、委員会付託は省略することで確認された。

討論については、別紙討論一覧表のとおり近藤（好）議員から通告があり、表決については、別紙表決調べ（17ページ参照）のとおり確認された。

### (3) 意見書案の上程

別紙意見書案一覧表（18ページ参照）のとおり、7件を一括上程することで確認された。

提案理由の説明、委員会付託を省略し、質疑、討論はなしとすることで確認された。

また、表決は6回に分けて行い、初めに第32号及び第33号の2件について行い、2回目に第34号、3回目に第35号、4回目に第36号、5回目に第37号、6回目に第38号について行うことで確認された。

## 2 その他

### (1) 市長職務代理者あいさつについて

市長職務代理者から挨拶のための発言を求められているので、許可することとされた。

### (2) 令和8年第1回定例会予算審査委員会の日程について

従前からのローテーションに基づき、議題書に記載のとおり、3月16日に市民経済常任委員会、17日に建設水道常任委員会、18日に総務常任委員会、19日に教育福祉常任委員会を開催することで調整され、開会時間はいずれも午前10時からということで確認された。

### (3) 次期議会運営委員会の日程について

市長選挙並びに市議会議員補欠選挙後の議会運営について協議するため、令和8年1月16日（金）午後1時から行うこととされた。

# —— 各 派 代 表 者 会 議 ——

日時・場所 11月27日(木) 議会運営委員会室  
開議 午前9時55分 散会 午前10時8分  
出席議員 富田議長、藤江副議長、小曾根、近藤(登)、新井、小淵、堤、近藤(好)、石塚、  
角田各議員、(オブザーバー)中林、入澤、宮崎、岸川、阿久澤各議員  
当局出席者 細谷副市長、総務部長、指導担当次長、秘書、文書法制各課長、前橋高校事務長

## 1 高校生模擬議会の開催について

指導担当次長から次のとおり説明があった。

まず、説明に先立ち、去る10月2日に市立前橋高等学校で開催した事前授業には、多忙のところ、副議長をはじめ議員の皆さんに来校してもらい、御礼を言いたい。当日は、各議員から模擬議会に臨む生徒たちへのメッセージをもらうとともに、各クラスのマニフェスト作成に向けてアドバイスももらった。生徒からは、前橋市の実情を教えてもらったり、質問を作成する上での具体的なポイントを教えてもらったりすることができ、大変貴重な経験だったという声を聞いている。

それでは、説明に入る。高校生模擬議会は、市立前橋高校で実施している探究学習の一環として開催するものである。

7年目となる今回は、12月18日に前橋市議会の議場において3回に分けて実施する予定である。

出席者は、第2学年生徒全員231人のほか、校長、担当教諭、市長、副市長、公営企業管理者、各部局長、市教育委員会としては、教育長、教育次長、指導担当次長の出席を予定している。市議会からは議長に出席してもらい、第2回の冒頭の挨拶と質問、答弁後の講評をもらいたい。また、第3回では、慣例により、議長と交代して副議長に出席してもらいたい。よろしく願います。

各回の流れと質問形式などについては、答弁後に持ち時間の中で生徒が要望や意見等を述べる予定である。なお、質問内容については現在作成中である。

議員の皆さんには、時間が許せば、傍聴席で傍聴してもらえればと思う。なお、写真撮影については、生徒個人の識別ができないよう配慮してほしいと思う。また、保護者以外の一般の人の傍聴は遠慮してもらう。

事前授業も含め、議員の皆さんには大変お世話になるが、どうぞよろしく願います。

## 2 市長において専決処分することができる事項の指定の改正案について

議事課長から次のとおり説明があり、近藤(好)議員から発言があった後、案のとおり進めることで了承された。

市長において専決処分することができる事項の指定の改正案について説明する。

地方自治法では、議会の権限に属する軽易な事項で、その議決により指定したものは、地方公共団体の長において専決処分することができることと規定しており、本市においては、法律上市の義務に属する1件100万円以下の損害賠償の額を決定すること、市営住宅の管理上必要な訴えの提起、和解及び調停に関することの2項目について指定している。今回、議会の議決を経て締結した工事請負契約に係る軽易な事項について、迅速に契約の変更を行うことができるようにするため改正を行うものである。

改正の内容であるが、議会の議決を経て締結した工事請負契約について、当該契約金額に100分の10を乗じて得た額（その額が1,500万円を超える場合は1,500万円）以下の金額に係る変更契約を締結することを追加するものである。なお、注書きとして、本議決は、議決の日以後に締結する改正後の本則第3項に規定する変更契約から適用するとしている。

今後の手続についてであるが、本件については、議会議案として提出し、議決していただく必要がある。この内容で了承してもらえれば、議会議案の案を作成し、次回の各派代表者会議で内容を確認してもらい、議案提出の手続を進める。

### 3 「広報まえばし」の新年あいさつ文について

議長から次のとおり説明があり、了承された。

市議会の新年挨拶については、本年も高い倫理性と高潔性を持って市政に臨み、健全な市政運営のためにしっかりと審議し、住民意見の集約と反映などを通じ、住民自治の発展と地域社会の振興に尽くしてまいりますとした。誠実に市政に向き合い、市政の健全化に向けて審議を重ね、市民の声を大切にしながら地域の発展に力を尽くしていくという思いを込めた文章にした。令和8年1月号の広報まえばしの新年の挨拶文は確認してもらった内容で掲載されるということにより、よろしくお願いする。

### 4 その他

#### (1) 市議会ホームページへの新年あいさつ掲載等について

議長から次のとおり説明があり、了承された。

令和7年と同様にトップページを1月1日に謹賀新年と表示する新年挨拶版に切り替え、1月16日に通常版に戻す予定であるので、承知おき願う。

なお、新年挨拶版トップページにも広報まえばしの新年挨拶文と同様の文章を掲載するとともに、議会庁舎の議場の写真を掲載するので、承知おき願う。

#### (2) 次期各派代表者会議の日程について

12月8日（月）午前9時から行うこととされた。

#### (3) 市長選挙のスケジュールについて

石塚議員から、市長の退職願に伴う市長選挙のスケジュールについて発言があった後、議事課長、近藤（好）議員から発言があった。

×

×

日時・場所	12月8日（月）	議会運営委員会室
	開議 午前8時56分	散会 午前9時4分
出席議員	富田議長、藤江副議長、小曾根、近藤（登）、新井、小淵、堤、近藤（好）、石塚、角田各議員、（オブザーバー）中林、入澤、宮崎、岸川、阿久澤各議員	
当局出席者	細谷副市長、総務部長、秘書、職員、文書法制各課長	

### 1 人事案件について

市長職務代理者細谷副市長から次のとおり説明があり、人事案件については12日に議案送付され、最終日の16日に市長職務代理者提出追加議案として上程することで了承された。

今回の定例会に提案させてもらう人事議案について、本日あらかじめ説明したいと思う。

公平委員会の委員の選任についてである。現在委員である福島英人さんの任期が令和8年3月26日で満了となるが、引き続き委員をお願いしたいと思う。

なお、本件については、12月16日に議案として提出する。

## 2 本市における人事院勧告に伴う職員等給与の見直しについて

総務部長から次のとおり説明があり、了承された。

本市における人事院勧告に伴う職員等給与の見直しについて説明する。

人事院勧告に伴う給与条例等の改正については、本市ではこれまで、給与法改正案の閣議決定後、市議会へ議案を提出し、給与法改正案の成立後に議決してもらっている。また、国の考える地方公共団体における職員の給与改定の実施時期については、国における給与法の改正の措置を待って行うことを基本とし、国における給与法の改正の動向を踏まえつつ、地域の実情を踏まえて適切に判断するとされている。本市としては、職員の給与については国家公務員に準拠するとの基本方針に基づき、国の示す方針に沿って、これまでどおり給与法改正案の成立をもって給与条例等改正を行うべきと考えている。

こうした中で、令和7年度における国の給与法改正については、今後の閣議にて法改正案について決定される予定となるため、現時点では法案成立の見通しが立っていない状況となっている。一方で、本市の給与支給事務については、給与改定に伴う差額を年内に支給する場合、この差額分も含めて令和7年の収入として年末調整を行う必要があるため、システム処理上の最終期限は12月11日となっている。なお、この改定差額の支給額の算出処理は、処理、確認作業に数日要する上、一度処理を開始すると元に戻せないため、処理の開始は給与条例等改正後に行わなければならないものとなっている。したがって、今後、第4回定例会会期中に給与法改正案が成立し、給与等条例改正案の議決に協力してもらったとしても、年末調整を見通した差額支給を行うことは困難な状況であるため、第4回定例会での議案提出を見送らせてもらったところである。議員の皆さんについても、特別職の対応に準じていることから、同様に考えてもらえればと思うので、理解してもらいたい。

## 3 議会提出議案について

議長から次のとおり説明があり、了承された。

市長において専決処分することができる事項の指定の改正について、11月27日の各派代表者会議において確認した内容で議案を作成したので、確認をお願いする。

なお、議案の提出者及び上程日についてであるが、提出者については、正副議長を除く賛同してもらった各派代表者会議構成員の皆さんをお願いしたいと思う。また、上程日については、最終日の16日に議題とすることとし、この後の議会運営委員会において取扱いを協議してもらいたいと思う。

なお、賛同してもらった各派代表者会議構成員の皆さんには、後ほど事務局職員が提出者としての署名をもらいに行くので、よろしく願います。

## 4 その他

### (1) 新年互礼会について

総務課長から次のとおり説明があった。

まず、市長以下部長職以上の市当局幹部職員との互礼会については、1月14日午前9時から議会庁舎2階研修室で行われるので、出席願う。なお、開催方法については、市長の挨拶の後、議長からの挨拶を行う、令和7年と同様の方法で実施する予定である。

次に、前橋商工会議所の新年互礼会については、1月7日午前11時から前橋商工会議所2階サクラにおいて開催される。案内は、正副議長及び市民経済常任委員会正副委員長宛てに送付されているところである。

×

×

日時・場所	12月16日(火)	議会運営委員会室
	開議 午前9時56分	散会 午前10時3分
出席議員	富田議長、藤江副議長、小曾根、近藤(登)、新井、小淵、堤、近藤(好)、石塚、角田各議員、(オブザーバー)中林、入澤、宮崎、岸川、阿久澤各議員	
当局出席者	細谷副市長、総務、財務、こども未来各部長、秘書、文書法制、財政、こども支援各課長	

### 1 令和7年度前橋市一般会計補正予算の専決処分について

財務部長及びこども未来部長から次のとおり説明があり、専決処分により事務を進めることで了承された。

(財務部長)

財務部から、令和7年度前橋市一般会計補正予算の専決処分について、説明とお願いをさせていただきます。

初めに、内容である。本日、国の経済対策に係る補正予算が成立する見込みとなったことに伴い、物価高の影響が長期化し、その影響を強く受けている子育て世帯に対して、物価高対応子育て応援手当の支給を迅速に実施するため、必要な経費について、補正予算措置を行うものである。物価高対応子育て応援手当については、目的や支給対象などの概要をこの後、こども未来部から説明するが、国から早期の事業実施が求められていることと併せて、何よりも市民のためには、できるだけ早く支給する必要がある。ついては、国の補正予算成立後から事業実施まで、特に緊急を要し、議会招集の時間的余裕がないため、専決処分をしたいと考えている。

専決処分予定日については、国の補正予算成立後、速やかに事務を進める必要があるため、12月22日付けとしたいと考えている。

補正項目については、歳入として、物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金を国庫補助金に追加するとともに、歳出として、児童手当を受給する子育て世帯への応援手当の支給に係る対応経費を計上するものである。

補正予算一覧表は、9億5,354万8,000円を追加し、補正後の予算規模を1,610億

4, 016万2, 000円にしようとするものである。

このような補正内容で専決処分した後は、次の議会において、専決処分の報告を行い、承認を求めたいと考えている。

専決処分についての説明は以上となるが、引き続き、物価高対応子育て応援手当の事業概要について、こども未来部から説明する。

(こども未来部長)

こども未来部より、物価高対応子育て応援手当について、説明する。

初めに、事業の目的である。物価高の影響が長期化し、その影響が様々な人々に及ぶ中、特に、その影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援し、子供たちの健やかな成長を応援する観点から、国の経済対策として物価高対応子育て応援手当を支給するものである。

支給対象者については、令和7年9月30日時点において、児童手当支給対象児童を養育する父母等が対象となる。ただし、対象児童には、令和7年10月1日以降令和8年3月31日までに生まれる新生児も含むこととしている。なお、公務員は原則職場から児童手当が支給されているが、今回の物価高対応子育て応援手当については、住んでいる市町村から支給することになっている。支給対象者数については、基準日時点の児童手当支給対象児童が39,108人、令和7年10月1日以降生まれる新生児が800人、公務員が7,000人、合計46,908人を見込んでいる。

支給額については、ゼロ歳から高校生年代までの子供一人当たり2万円となっており、所得制限はない。

概算経費については、先ほど財務部が説明したとおり、総額9億5,354万8,000円の予算規模となるが、全額国庫負担で実施することになる。

支給方法については、原則申請不要のプッシュ型で支給することになるが、令和7年10月1日以降に生まれる新生児や公務員は申請をしてもらう予定である。

スケジュールについては、1月初旬にはシステム開発やプッシュ型通知の作成に着手し、2月初旬にプッシュ型通知を送信する予定である。今回の手当の法的性格は贈与契約となっていることから、贈与契約の承諾の意思表示を確認するため、国が示している発送後、おおむね2週間の受給拒否期間を設け、2月下旬にはプッシュ型通知対象者への支給を行いたいと考えている。

なお、新生児や公務員については、2月から随時受付を開始し、3月初旬から支給を開始したいと考えている。

## 2 その他

### (1) 次期各派代表者会議の日程について

市議会議員補欠選挙に伴う諸対応について協議するため、令和8年1月16日(金)午後1時から行うこととされた。

# ロビ一

## —— 1 2 月 の 日 誌 ——

月 日	曜日	日 誌
1 1 月 2 7 日	木	各派代表者会議 議会運営委員会 本会議 (1 日目)
1 2 月 4 日	木	議会運営委員会 本会議 (2 日目)
1 2 月 5 日	金	議会運営委員会 本会議 (3 日目)
1 2 月 8 日	月	各派代表者会議 議会運営委員会 本会議 (4 日目)
1 2 月 1 6 日	火	各派代表者会議 議会運営委員会 本会議 (5 日目)

## —— 図 書 室 だ よ り ——

( 1 2 月 寄 贈 図 書 )

書 名	著 ( 編 ) 者	発 行	備 考
前橋空襲と復興資料館 図録	前橋空襲と復興資料館 検討委員会	前橋市	寄贈
前橋学ブックレット44 角田佳一の見た戦前・戦中・戦後	角田 光利	上毛新聞社	寄贈

# 議 会 運 営 状 況 調 べ

## 1 本会議開催状況（令和7年）

会 議 名	会 期	本会議日数	会議時間	傍聴者数	代表質問		総括質問		質 疑	
					日数	質問者数	日数	質問者数	日数	質問者数
第1回定例会(3月)	3月4日～3月28日 25日間	5日	21時間2分	177人	1日	5人	2日	25人		
第2回定例会(6月)	6月10日～6月27日 18日間	5日	15時間46分	153人			3日	31人		
第3回定例会(9月)	9月2日～9月26日 25日間	4日	14時間23分	160人			2日	24人		
第4回定例会(12月)	11月27日～12月16日 20日間	5日	16時間14分	120人			3日	31人		
定例会 計	88日間	19日	67時間25分	610人	1日	5人	10日	111人		
1月臨時会(1月)	1月14日 1日間	1日	0時間14分	0人					1日	0人
臨時会 計	1日間	1日	0時間14分	0人					1日	0人
本会議 計	89日間	20日	67時間39分	610人	1日	5人	10日	111人	1日	0人

## 2 本会議審議状況

議 案 会議名	市長提出議案							議員提出議案							議案 合計	議員 派遣	請 願	退 職 同 意	
	条 例	予 算	決 算	事 件 議 案	人 事 議 案	報 告	計	条 例	規 則	議 決	議 案 修 正	意 見 書	決 議	計					
第1回定例会	23	23		8	10		64	1	1			10		12	76				
第2回定例会	5	2		10	1	2	20					11		11	31	4			
第3回定例会	6	6	12	3	8		35					10		10	45				
第4回定例会	18	6		20	1		45			1※		7		8	53			1	
定例会 計	52	37	12	41	20	2	164	1	1	1		38		41	205	4		1	
1月臨時会	3	8					11							11					
臨時会 計	3	8					11							11					
本会議 計	55	45	12	41	20	2	175	1	1	1		38		41	216	4		1	
審議結果 (議案)	原案可決	55	45		41		141	1	1	1		13		16	157				
	修正可決																		
	否決											25		25	25				
	同意					20	20								20			1	
	同意せず																		
	承認					2	2								2	4			
	認定			12			12								12				
	継続審議																		
	審議未了																		
	撤回																		
その他																			
審議結果 (請願)	採 択																		
	趣旨採択																		
	一部採択																		
	不採択																		
	継続審議																		
	取り下げ																		
	取り下げ(上程前)																		
議決不要																			

※議会議案第3号 市長において専決処分することができる事項の指定の改正について

3 委員会・各種会議開催状況

委員会等		開催月等												会議時間	開催日数 (回数)計	視察 日数	視察込 日数計	傍聴 者数	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12						
常 任 委 員 会	総務	会期中			3					2				9時間14分	5		5	2	
		閉会中				1	1			1		1	1	3時間40分	5	3	8		
		計	0	0	3	1	1	0	0	1	2	1	1	0	12時間54分	10	3		13
	教育福祉	会期中			3						2				10時間29分	5		5	2
		閉会中				1	1			1		1	1	5時間37分	5	3	8		
		計	0	0	3	1	1	0	0	1	2	1	1	0	16時間6分	10	3	13	
	市民経済	会期中			3						2				8時間45分	5		5	3
		閉会中				1	1			1		1	1	2時間48分	5	3	8		
		計	0	0	3	1	1	0	0	1	2	1	1	0	11時間33分	10	3	13	
	建設水道	会期中			3						2				9時間12分	5		5	3
		閉会中				1	1			1		1	1	2時間37分	5	3	8		
		計	0	0	3	1	1	0	0	1	2	1	1	0	11時間49分	10	3	13	
	常任委員会 合計A		0	0	12	4	4	0	0	4	8	4	4	0	52時間22分	40	12	52	10
	議 運	議会運営委員会	2		5		1	5		1	4		4	4	1時間55分	26	2	28	
		合計B	2	0	5	0	1	5	0	1	4	0	4	4	1時間55分	26	2	28	
	各 種 会 議	全員協議会													開催なし				
		議会運営協議会		1	1										25分	2		2	
		各派代表者会議	2	4	5	1	1	3		1	4	5	3	2	7時間28分	31		31	
		議会広報紙編集委員会			1										1分	1		1	
		議会図書室運営委員会			1			1							4分	2		2	
		各種会議 合計C	2	5	8	1	1	4	0	1	4	5	3	2	7時間58分	36	0	36	
	合計 (A + B + C)		4	5	25	5	6	9	0	6	16	9	11	6	62時間15分	102	14	116	10

4 請 願

なし

5 陳 情

番号	受理年月日	件 名	送付先
1	7.10.9	排泄予測支援機器「D F r e e」の日常生活用具認定に関する陳情書	教育福祉

6 意見書

番号	件名	議決年月日	議決結果
1	「手話に関する施策の推進に関する法律（仮称）」の早期制定を求める意見書	7. 3. 28	可 決
2	ガソリン暫定税率の廃止を求める意見書	〃	〃
3	福祉用具の安全利用強化を求める意見書	〃	否 決
4	上下水道施設更新と強化のための抜本的財政支援を求める意見書	〃	〃
5	選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論の促進を求める意見書	〃	〃
6	核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書	〃	〃
7	高額療養費制度の自己負担限度額引上げの撤回を求める意見書	〃	〃
8	国民健康保険制度への抜本的な財政支援を求める意見書	〃	〃
9	日本学術会議「法人化法案」の撤回を求める意見書	〃	〃
10	軍事費を削って暮らし優先の予算への転換を求める意見書	〃	〃
11	地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書	7. 6. 27	可 決
12	北朝鮮による拉致被害者の早急な全員即時一括帰国を求める意見書	〃	〃
13	米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書	〃	〃
14	3歳未満児の保育料無償化の早期実施を求める意見書	〃	〃
15	外国人土地取得規制強化を求める意見書	〃	〃
16	地域医療を守るため緊急対策の実施を求める意見書	〃	否 決
17	米の供給と価格安定のための対策と農政への抜本的支援を求める意見書	〃	〃
18	地方財政の充実・強化を求める意見書	〃	〃
19	バス運転手の不足解消のための財政支援を求める意見書	〃	〃
20	公職選挙法の抜本的な改正を求める意見書	〃	〃
21	物価高騰対策として消費税5%への減税を求める意見書	〃	〃
22	上下水道事業に関する財政支援等を求める意見書	7. 9. 26	可 決
23	持続可能な水田農業の確立を求める意見書	〃	〃
24	児童の朝の居場所の確保を図るための措置を求める意見書	〃	否 決
25	若者の政治参加を促進する抜本的改革を求める意見書	〃	〃
26	女性差別撤廃条約選択議定書の早期締結を求める意見書	〃	〃
27	最低賃金の引上げと中小企業支援の拡充を求める意見書	〃	〃
28	インボイス制度の廃止を目指し、事業者の負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書	〃	〃
29	消費税減税を求める意見書	〃	〃
30	従軍慰安婦問題の早期解決を求める意見書	〃	〃
31	不登校対策の強化を求める意見書	〃	〃

番号	件名	議決年月日	議決結果
32	太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書	7.12.16	可決
33	巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書	〃	〃
34	大学病院の経営支援と機能強化を求める意見書	〃	〃
35	地方自治法第178条の見直しを求める意見書	〃	〃
36	タネ（種子）を守る2法案の成立を求める意見書	〃	否決
37	地域医療を守る診療報酬の緊急改定を求める意見書	〃	〃
38	気候危機打開へ温室効果ガスの削減目標に関する意見書	〃	〃

7 決議

なし

8 視察・研修来訪状況

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	0	0	0	0	2	0	6	5	0	9	2	0	24
人数	0	0	0	0	16	0	46	46	0	67	19	0	194



議 会 月 報 令和7年12月号  
編集 前橋市議会事務局議事課調査係  
発行 前橋市議会事務局

